



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 ブラザー工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6448 URL <http://www.brother.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 利和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 藤井 宗高

TEL 052-824-2075

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	451,841	19.8	30,740	19.4	24,145	9.0	11,784	△3.6
25年3月期第3四半期	377,263	1.2	25,748	△23.4	22,150	△36.9	12,221	△36.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 40,595百万円 (103.8%) 25年3月期第3四半期 19,916百万円 (287.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	44.21	44.12
25年3月期第3四半期	45.66	45.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	483,612	313,212	61.3	1,116.14
25年3月期	421,494	278,769	62.4	985.85

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 296,215百万円 25年3月期 262,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
26年3月期	—	12.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	615,000	19.2	38,000	27.6	30,500	31.8	15,500	△13.1	58.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ブラザーインダストリーズ(フィリピン) 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	277,535,866 株	25年3月期	277,535,866 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	12,143,664 株	25年3月期	10,925,903 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	266,561,270 株	25年3月期3Q	267,690,260 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績見通しであり、当社としてはその実現を約束する趣旨のものではありません。実績の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

業績予想に関しては、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

当社は、平成26年2月4日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会(テレフォンカンファレンス)を開催する予定です。
当日の説明会資料については、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1. 当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)の業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては、企業部門の回復持続や雇用環境の改善に加え、株価や住宅価格の上昇を背景とした消費者マインドの改善も重なり、緩やかな成長が持続しております。欧州においても、雇用環境は依然として厳しさが続いているものの、企業の景況感の改善に加え、個人消費に緩やかな回復が見られるなど、全体的に景気に持ち直しの兆しが見えつつあります。また、日本においても、企業業績の回復に加え、株価の上昇を背景に、個人消費が底堅く推移するなど、景気の回復が鮮明になっております。一方、新興国においては、通貨安などにより、経済成長の鈍化が懸念されるなど、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、産業機器の大口受注の一巡に伴い、マシナリー・アンド・ソリューション事業が減収となったものの、通信・プリンティング機器を中心とした、円安による為替のプラス影響に加え、株式会社ニッセイの新規連結効果などにより、売上高は前年同期比19.8%増の4,518億4千1百万円となりました。営業利益は、産業機器が減収となったことや、販売費及び一般管理費などの費用増加の影響はあるものの、円安による為替のプラス影響もあり、前年同期比19.4%増の307億4千万円となりました。経常利益は、円安に伴い、為替予約に係る決済差損が増加したものの、営業利益の増加により、前年同期比9.0%増の241億4千5百万円となりました。四半期純利益は、税効果会計の影響で法人税等が増加したことなどにより、前年同期比3.6%減の117億8千4百万円となりました。

*当第3四半期連結累計期間における平均為替レート(連結)は次の通りです。

米ドル : 99.23円 ユーロ : 132.13円

*前第3四半期連結累計期間における平均為替レート(連結)は次の通りです。

米ドル : 80.43円 ユーロ : 103.24円

2. 当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)の主なセグメント別の状況

※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、変更後の区分に基づいております。

1) プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

売上高 3,179億6千2百万円(前年同期比+25.7%)

●通信・プリンティング機器 2,837億4百万円(前年同期比+25.5%)

主に米州において、製品本体・消耗品とも需要が堅調だったことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

●電子文具 342億5千8百万円(前年同期比+27.1%)

主に日本・アジア地域で売上が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

営業利益 231億4千6百万円(前年同期比+45.1%)

販売費及び一般管理費の増加の影響はあるものの、為替のプラス影響により、増益となりました。

2) パーソナル・アンド・ホーム事業

売上高 317億7千9百万円(前年同期比+27.7%)

主に米州において売上が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

営業利益 28億9千1百万円(前年同期比+59.4%)

主に為替のプラス影響により、増益となりました。

3) マシナリー・アンド・ソリューション事業

売上高 446億4千3百万円(前年同期比△9.0%)

●工業用ミシン 190億6百万円(前年同期比+48.2%)

中国・アジア地域における、縫製産業の設備投資需要の回復を受け、増収となりました。

●産業機器 256億3千7百万円(前年同期比△29.3%)

IT関連産業向けの大口受注が一巡した影響により、減収となりました。

営業利益 30億8千8百万円(前年同期比△31.8%)

産業機器の減収の影響により、減益となりました。

4) ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

売上高 341億7千8百万円(前年同期比△9.8%)

前年に発売したカラオケ機器の新製品効果が一巡した影響により、減収となりました。

営業損失 5億4千8百万円(前年同期 営業利益 20億6千1百万円)

売上の減少に加え、カラオケ店舗事業の競争力強化のための投資などの費用の増加の影響により、営業損失となりました。

5) 工業用部品事業

売上高 117億9千9百万円

営業利益 8億3千1百万円

第1四半期連結会計期間より、工業用部品事業セグメントとして開示しております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ621億1千7百万円増加し、4,836億1千2百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ276億7千4百万円増加し、1,703億9千9百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べ344億4千2百万円増加し、3,132億1千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境を踏まえ、平成26年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

(単位：億円)

	平成26年3月期 予想 (A)	平成25年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成26年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
売上高	6,150	5,161	19.2%	6,000	2.5%
営業利益	380	298	27.6%	350	8.6%
経常利益	305	231	31.8%	295	3.4%
当期純利益	155	178	△13.1%	165	△6.1%
為替レート (円)					
米ドル	99.74	83.23	-	96.77	-
ユーロ	133.45	107.57	-	127.45	-

※上記表内の為替レートは、年間の平均レートです。

売上高は、為替の想定レートを円安方向に変更したことによるプラス影響に加え、産業機器に需要回復が見込まれることから、前回予想を上回る見通しです。営業利益・経常利益とも、上記要因により、前回予想を上回る見通しです。当期純利益については、為替の想定レートの変更に伴う税効果会計の影響を織り込んだ結果、税負担が増加することから、前回予想を下回る見通しです。

なお、平成26年3月期の通期連結業績見通しの前提となる、予想部分の為替レートについて、1米ドル=95円から、1米ドル=100円へ変更しております。ユーロについては、1ユーロ=125円から、1ユーロ=135円へ変更しております。

[参考データ]

1) 事業セグメント別売上高

(単位：億円)

		平成26年3月期 今回予想 (A)	平成25年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成26年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
プリンティング・ アンド・ ソリューションズ事業	通信・プリン ティング機器	3,849	3,135	22.8%	3,760	2.4%
	電子文具	465	373	24.5%	454	2.4%
	計	4,314	3,508	23.0%	4,214	2.4%
パーソナル・アンド・ホーム事業		425	338	25.7%	417	1.9%
マシナリー・ アンド・ ソリューション事業	工業用ミシン	262	189	38.6%	260	0.8%
	産業機器	351	425	△17.4%	298	17.8%
	計	613	614	△0.2%	558	9.9%
ネットワーク・アンド・コンテンツ事業		489	501	△2.4%	505	△3.2%
工業用部品事業		160	-	-	160	-
その他事業		149	199	△25.2%	146	2.1%
合計		6,150	5,161	19.2%	6,000	2.5%

2) 事業セグメント別営業利益

(単位：億円)

	平成26年3月期 今回予想 (A)	平成25年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成26年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
プリンティング・アンド・ ソリューションズ事業	273	188	45.0%	253	7.9%
パーソナル・アンド・ ホーム事業	37	25	48.7%	34	8.8%
マシナリー・アンド・ ソリューション事業	37	40	△7.6%	24	54.2%
ネットワーク・アンド・ コンテンツ事業	7	23	△69.8%	14	△50.0%
工業用部品事業	11	-	-	11	-
その他事業	15	21	△29.9%	14	7.1%
合計	380	298	27.6%	350	8.6%

3) 所在地別売上高

(単位：億円)

	平成26年3月期 今回予想 (A)	平成25年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成26年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
日本	1,602	1,516	5.7%	1,570	2.0%
米州	2,020	1,595	26.6%	2,003	0.8%
欧州	1,606	1,303	23.3%	1,524	5.4%
アジア他	922	747	23.5%	903	2.1%
合計	6,150	5,161	19.2%	6,000	2.5%

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結財務諸表に及ぼす重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、ブラザーインダストリーズ（フィリピン）を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,320	77,815
受取手形及び売掛金	80,418	90,061
有価証券	10,004	3,823
たな卸資産	87,679	106,312
その他	19,685	22,316
貸倒引当金	△1,555	△1,721
流動資産合計	248,554	298,608
固定資産		
有形固定資産	88,588	99,847
無形固定資産		
のれん	5,253	5,515
その他	14,429	15,095
無形固定資産合計	19,682	20,610
投資その他の資産		
投資有価証券	38,612	36,714
その他	34,740	29,287
貸倒引当金	△8,684	△1,456
投資その他の資産合計	64,668	64,546
固定資産合計	172,940	185,003
資産合計	421,494	483,612
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,107	46,696
短期借入金	6,524	10,756
未払法人税等	2,998	6,248
賞与引当金	7,921	6,460
役員賞与引当金	—	45
製品保証引当金	3,901	4,798
著作権費用引当金	918	1,103
資産除去債務	13	40
その他	52,669	54,595
流動負債合計	107,054	130,745
固定負債		
長期借入金	12,700	12,900
退職給付引当金	8,671	10,513
役員退職慰労引当金	407	355
資産除去債務	1,025	1,021
その他	12,865	14,863
固定負債合計	35,670	39,653
負債合計	142,724	170,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,209	19,209
資本剰余金	16,463	16,679
利益剰余金	255,639	260,719
自己株式	△12,971	△14,092
株主資本合計	278,341	282,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,344	5,250
繰延ヘッジ損益	△443	△2,107
為替換算調整勘定	△17,405	10,555
その他の包括利益累計額合計	△15,503	13,698
新株予約権	458	451
少数株主持分	15,473	16,545
純資産合計	278,769	313,212
負債純資産合計	421,494	483,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	377,263	451,841
売上原価	217,181	258,047
売上総利益	160,082	193,793
販売費及び一般管理費	134,334	163,053
営業利益	25,748	30,740
営業外収益		
受取利息	635	730
受取配当金	539	207
為替差益	328	—
持分法による投資利益	178	—
デリバティブ評価益	—	1,915
その他	641	1,382
営業外収益合計	2,322	4,234
営業外費用		
支払利息	363	218
売上割引	1,457	1,890
為替差損	—	8,469
持分法による投資損失	—	118
デリバティブ評価損	3,863	—
その他	235	133
営業外費用合計	5,919	10,829
経常利益	22,150	24,145
特別利益		
固定資産売却益	251	45
投資有価証券売却益	0	465
受取補償金	288	—
子会社清算益	261	—
抱合せ株式消滅差益	—	144
その他	37	53
特別利益合計	840	708
特別損失		
固定資産売却損	17	55
固定資産除却損	319	299
減損損失	145	234
子会社清算損	125	—
その他	320	44
特別損失合計	928	633
税金等調整前四半期純利益	22,062	24,220
法人税等	9,840	11,820
少数株主損益調整前四半期純利益	12,222	12,399
少数株主利益	0	614
四半期純利益	12,221	11,784

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12, 222	12, 399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△664	2, 550
繰延ヘッジ損益	△216	△1, 664
為替換算調整勘定	8, 534	27, 309
持分法適用会社に対する持分相当額	40	—
その他の包括利益合計	7, 694	28, 195
四半期包括利益	19, 916	40, 595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19, 915	40, 335
少数株主に係る四半期包括利益	0	259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	プリンティング・アンド・ソリューションズ	パーソナル・アンド・ホーム	マシナリー・アンド・ソリューション	ネットワーク・アンド・コンテンツ	工業用部品
売上高					
外部顧客への売上高	252,999	24,879	49,079	37,874	—
セグメント間の内部売上又は振替高	—	—	—	—	—
計	252,999	24,879	49,079	37,874	—
セグメント利益	15,948	1,814	4,529	2,061	—

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高				
外部顧客への売上高	12,430	377,263	—	377,263
セグメント間の内部売上又は振替高	7,048	7,048	△7,048	—
計	19,478	384,311	△7,048	377,263
セグメント利益	1,436	25,790	△42	25,748

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント間の内部売上又は振替高の調整額△7,048百万円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益の調整額△42百万円はセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	プリンティング・アンド・ソリューションズ	パーソナル・アンド・ホーム	マシナリー・アンド・ソリューション	ネットワーク・アンド・コンテンツ	工業用部品
売上高					
外部顧客への売上高	317,962	31,779	44,643	34,178	11,799
セグメント間の内部売上又は振替高	—	—	—	—	—
計	317,962	31,779	44,643	34,178	11,799
セグメント利益又は損失（△）	23,146	2,891	3,088	△548	831

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高				
外部顧客への売上高	11,477	451,841	—	451,841
セグメント間の内部売上又は振替高	7,345	7,345	△7,345	—
計	18,822	459,187	△7,345	451,841
セグメント利益又は損失（△）	1,389	30,798	△58	30,740

- (注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。
 2. セグメント間の内部売上又は振替高の調整額△7,345百万円はセグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失の調整額△58百万円はセグメント間取引消去であります。
 4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、新規事業の取得に伴い、管理区分の見直しを行ったことから、報告セグメントを従来の「プリンティング・アンド・ソリューションズ事業」、「パーソナル・アンド・ホーム事業」、「マシナリー・アンド・ソリューション事業」、「ネットワーク・アンド・コンテンツ事業」の4区分から「プリンティング・アンド・ソリューションズ事業」、「パーソナル・アンド・ホーム事業」、「マシナリー・アンド・ソリューション事業」、「ネットワーク・アンド・コンテンツ事業」、「工業用部品事業」の5区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。